

第13回 地域の声委員会の概要について

発電所では、新潟県中越沖地震に対する機器や建物・構築物の健全性の確認、設備の復旧、基準地震動に対する耐震安全性の確認、地震による課題への対策をそれぞれの号機で進めています。

現在、7号機ではプラント全体の機能試験・評価に向けた準備を進めており、6号機では燃料を装荷して行う系統機能試験を含め、26項目の試験中、18項目(2月19日現在)が完了しております。

また、これまでに見つかった不具合は、例えば主変圧器基礎部のひび割れなど、他の号機にも反映すべき対策については、全ての号機に展開しています。(7号機は対策を実施済み)

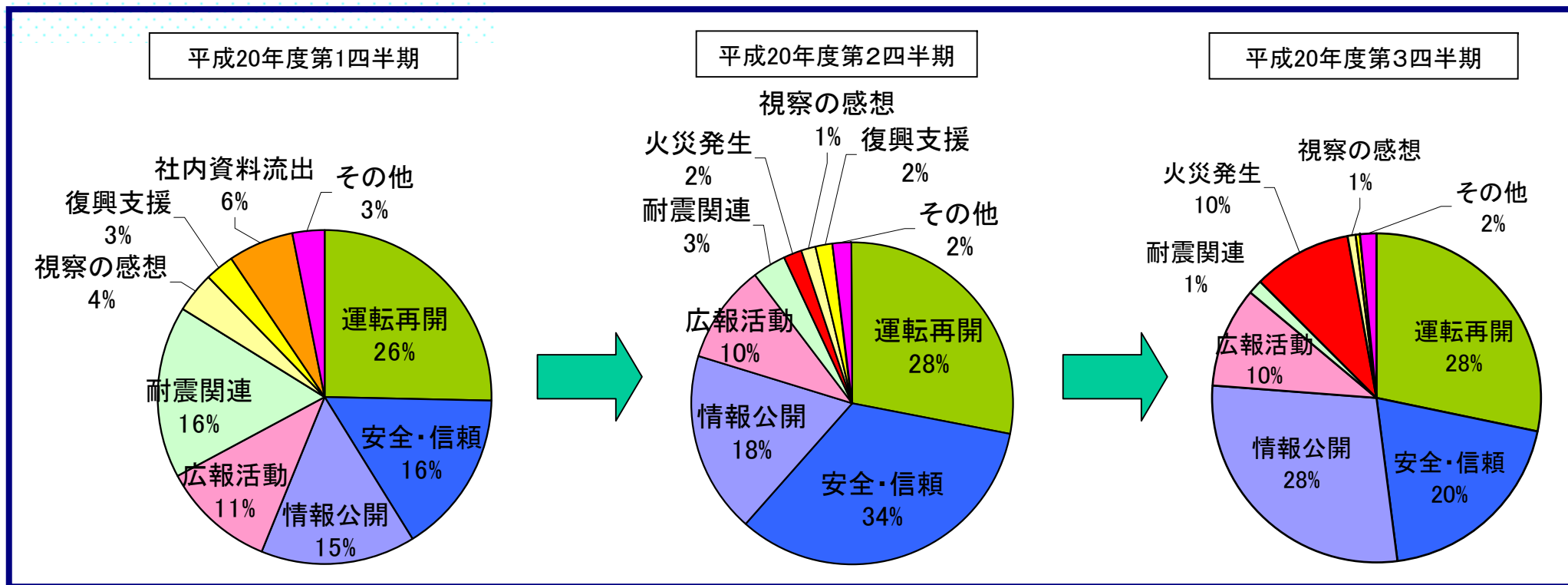
今後も、安全を最優先に点検・評価、復旧作業などを一つひとつ丁寧に進め、発電所で働く所員一人ひとりが、皆さまの思いをしっかりと受け止め、発電所の各設備の点検・調査状況や、災害に強い発電所づくりに向けた取り組みなどにつきまして、皆さまにわかりやすくお知らせできるよう努めてまいります。

この度、第13回地域の声委員会として平成20年第3四半期(10月1日～12月31日)に地域の皆さまからいただいたご意見の審議を中心に2月20日(金)に開催しました。

その概要等についてお知らせいたします。

地域の皆さまからいただいた声の状況について

● 広報誌「Newsアトム」や訪問活動等を通じて、平成20年10月1日～平成20年12月31日に地域の皆さまから**1,139件**の声をいただきました。主なご意見の内訳は次のとおりです。



【平成20年度第3四半期の主な声の内訳】

- **【運転再開】**発電所の運転再開へのご要望、復旧見通し等に関するご意見・ご質問
- **【安全・信頼】**発電所に対する安全や信頼についてのご意見・ご要望
- **【情報公開】**情報発信に関するご意見、ご要望
- **【広報活動】**地域訪問活動や当社PR館等で開催するイベントに関する感想やご要望
- **【火災発生】**11月、12月に発電所構内で発生した火災に対するご意見

第13回地域の声委員会の審議結果概要

第13回地域の声委員会におきましては、平成20年度第3四半期にいただいた声について取りまとめ、災害発生の未然防止、地域の目線に立ったわかりやすい情報発信など下記の事項について取り組むことを確認しました。

災害発生の未然防止について

- ◎現場で働く協力企業の方々と一体となって安全最優先で災害発生の未然防止に取り組んでいます。
- ◎「ストップ災害」声かけ運動を実施中で、「はさまれ注意!」「火災防止よし!」「ご安全に!」「指差し呼称で安全確保」等の声かけ及び声かけ後の現場パトロールを構内企業各社さんと一緒に行うことにより、安全意識の高揚をより一層高め、災害の未然防止を図っています。



当社では、地域の皆さまからいただいた様々なご意見を今後の発電所の運営に活かし、信頼される発電所を目指して取り組んでまいります。引き続き当社に対するご意見・ご要望をお聞かせくださいますようお願いいたします。

わかりやすい情報発信について

- ◎引き続き、臨時ニュースアトムやホームページなどを活用した迅速な情報発信を行ってまいります。
- ◎難しい用語については、適宜、定例ニュースアトムやビデオレターなどで用語解説を行ってまいります。
- ◎今後もアンケートを定期的実施させていただき、お客様のニーズに合った情報発信を心掛けてまいります。



喜んでいただけるイベントの開催について

- ◎地域の皆さまからいただいたご意見やご要望にお応えできるよう、開催日や内容を工夫し、様々なイベントを企画・開催してまいります。
- ◎イベント開催にあたりましては、発電所員と地域の皆さまとのコミュニケーションを大切にまいります。

